

新都城市が 誕生20周年を迎えました



令和8年1月1日、新市誕生20周年を迎えた都城市。
今回は、この節目を記念して、20年の歩みを振り返るとともに、市民の皆さんにまちへの思いをインタビューしました。

◎問い合わせ 秘書広報課 ☎23-3174

明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお喜び申上げます。

昨年は、本市にとって大きな飛躍の年となりました。まず、平成6年に計画路線として指定を受けてから30年を経て、都城志布志道路が全線開通いたしました。この道路が「防災・経済・医療の道」として、南九州における重要な役割をより一層果たし、地域全体の発展に大きく寄与するものと確信しております。

また、令和9年に本県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会のメイン会場となる霧島酒造スポーツランド都城が供用開始とともに、都城運動公園野球場

における千葉ロッテマリーンズの1軍春季キャンプが決定するなど、スポーツを通じた地域活性化が着実に進展し、交流人口の拡大や地域の魅力向上にも効果を發揮しています。

さらに、関之尾公園のスノーピーク都城キャンプフィールドは、リニューアルから1年半で来場者が50万人を超える、「道の駅」都城N-i-Q-L-Lもオープンから2年2ヶ月で300万人に達しました。両施設とも、家族連れや若い世代を中心新たにぎわいを創出しています。

そして、デジタル化の推進においては、日本DX大賞を3年連続で受賞し、全国初の「殿堂入り」という栄誉に輝きました。これは、市民の皆様のご理解と職員一丸となつた取組みの成果であり、深く感謝申上げます。

さて、本年は新市誕生20周年という節目の年です。これまでの成果をベースに「3つの宝をより一層輝かす取り組み」や「デジタル化の推進」「スポーツによる地域活性化」「対外的PRの強化」をさらに進め、市民サービスの向上と地域経済の発展に全力で取り組んでまいります。

また、中長期的な視点で取り組んでいる「人口戦略」については、保育料をはじめとする3つの完全無料化など「未来への投資」を積極的に展開しています。こうした取り組みにより、10年後・20年後の本市を、今よりもさらに活力のあるまちにし、お子様・お孫様の世代に引き継いでいるよう、しっかりと取り組んでまいります。

私としては、こうしたさまざま取り組みをしっかりと前に進めながら『市民の皆様の幸福と市の発展』のため、引き続き、『本気で挑戦してまいりますので、皆様のより一層のご理解ご協力をよろしくお願ひ申上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、幸多き一年でありますことを心からご祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

新市誕生20年の軌跡

2006-2016



2016 平成28年	2015 平成27年	2014 平成26年	2013 平成25年	2012 平成24年	2011 平成23年	2010 平成22年	2009 平成21年	2008 平成20年	2007 平成19年	2006 平成18年	
<ul style="list-style-type: none"> ● 新都城市誕生。初代市長に長峯誠さんが就任 ● 都城島津家第28代当主、島津久厚さんに新市初の名誉市民の称号を贈呈 ● 総合文化ホールMJグランドオープン ● 観音池公園で第1回焼肉カーニバル開催 	<ul style="list-style-type: none"> ● 都城泉ヶ丘高校が選抜高校野球大会に初出場（21世紀枠） ● 当時男性長寿世界一の田鍋友時さんに市民栄誉賞を贈呈 ● 新しい都城市旗が決定 ● ラグビー日本代表の西浦達吉さんに市民栄誉賞を贈呈 	<ul style="list-style-type: none"> ● 堀之内久男さんに新市として2人目の名誉市民の称号を贈呈 ● 第1回島津発祥まつり開催 ● 大型商業施設「イオンモール都城駅前」オープン 	<ul style="list-style-type: none"> ● 都城工業高校バレー部が春高バレーで全国制覇（市民栄誉賞を贈呈） ● 南九州大学都城キャンパス開学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 都城大丸が民事再生法の適用を申請 ● 新燃岳が約300年ぶりに爆発的噴火 	<ul style="list-style-type: none"> ● 都城志布志道路の県境未着工区間が事業化 ● 山之口スマートICの連結許可が決定 ● 吉都線全線開通100周年 	<ul style="list-style-type: none"> ● 五十市中学校女子バスケットボール部が全国中学校体育大会で初優勝 ● 都城島津邸オープン ● 都城泉ヶ丘高校附属中学校開校 ● 本市内で口蹄疫発生 	<ul style="list-style-type: none"> ● 都城大丸跡地の再生計画」を公表 ● 都城市長に池田宜永さんが就任 	<ul style="list-style-type: none"> ● 都城市PRロゴ発表 ● ふるさと納税を大幅リニューアル ● 都城市医師会病院が太郎坊町に移転開院 ● 株式会社ハートシティ都城とともに「都城大丸跡地の再生計画」を公表 	<ul style="list-style-type: none"> ● PR連携店第1号を認定 ● PR看板「黒霧島 MADE IN 都城」を東京モノレール沿いのビル屋上に設置 ● ソラシドエア「肉と焼酎のふるさと都城号」が就航 ● 東京モノレール企画電車の運行 ● サザエさんのオープニングで本市をPR ●マイナンバーカードのタブレット申請スタート 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ナイナイのお見合い大作戦in都城」を開催 ● 初めてのふるさと納税日本一 ● 菅内閣官房長官（当時）がふるさと納税日本一となつた本市を視察 ● 野外音楽イベント「ONE+NATION」が開催 ● 山之口スマートICが供用開始 ● 志和池中央ふれあい広場が供用開始 ● 大相撲地方巡業都城場所が開催 	<ul style="list-style-type: none"> ● 都城大丸跡地の再開発 ● 第1回島津発祥まつり開催 ● 大型商業施設「イオンモール都城駅前」オープン ● 都城工業高校バレー部が春高バレーで全国制覇（市民栄誉賞を贈呈） ● 南九州大学都城キャンパス開学 ● 堀之内久男さんに新市として2人目の名誉市民の称号を贈呈 ● 第1回焼肉カーニバル開催 ● 観音池公園で第1回焼肉カーニバル開催 ● 新都城市誕生。初代市長に長峯誠さんが就任 ● 都城島津家第28代当主、島津久厚さんに新市初の名誉市民の称号を贈呈 ● 総合文化ホールMJグランドオープン ● 観音池公園で第1回焼肉カーニバル開催



ONE+NATION ロゴ



新燃岳の噴火

● 新都城市誕生。初代市長に長峯誠さんが就任

● 都城島津家第28代当主、島津久厚さんに新市初の名誉市民の称号を贈呈

● 総合文化ホールMJグランドオープン

● 観音池公園で第1回焼肉カーニバル開催

2006 平成18年

2007 平成19年

2008 平成20年

2009 平成21年

2010 平成22年

2011 平成23年

2012 平成24年

2013 平成25年

2014 平成26年

2015 平成27年

2016 平成28年

新市誕生20年の軌跡

2017–2025



都城フィロソフィ策定

市役所本庁舎の窓口レイアウトリ
ニューアル

2017
平成29年

This timeline illustrates the significant milestones of municipal development in Tadotsu City from 2017 to 2025. The timeline is color-coded by decade, with each year marked by a yellow dot and a corresponding event summary.

2017 平成29年

- 県立陸上競技場の整備予定地が山之口町に北消防署を高木町に新築移転
- 内閣総理大臣賞を受賞

2018 平成30年

- 都城志布志道路横市一～平塚一～金御岳一～間が開通
- 都城フィロソフィ策定
- 中心市街地中核施設「Mallmall」がオープン
- 市役所本庁舎の窓口レイアウトをリニューアル
- 早水公園体育文化センターのサブアリーナと市立図書館が2018年度グッドデザイン賞受賞

2019 平成31年 令和元年

- 都城志布志道路梅北一～末吉一～間が開通
- 鷹尾・上長飯通線の整備が完了（郡元北交差点）
- 新規市街地中核施設「Mallmall」がオープン
- 南部ふれあい広場がオープン
- おくやみ窓口を開設

2020 令和2年

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、対策本部を設置
- 高病原性鳥インフルエンザを市内で初めて確認

2021 令和3年

- 新型コロナワクチン接種開始
- 都城志布志道路乙房一～横市一～間が開通
- 都城志布志道路金御岳一～末吉一～間が開通
- 令和元年市町村別農業産出額（推計）で初の日市立美術館特別展木梨憲武展開催
- 古川禎久法務大臣（当時）が公務で都城を初訪問

2022 令和4年

- 東京オリンピック2020野球競技で金メダルの山本由伸投手に市民栄誉賞を贈呈
- 都城志布志道路乙房一～横市一～間が開通
- ホテルやスーパー、マーケットなどの民間複合施設「TERRASTA」がオープン

2023 令和5年

- 東京オリンピック2020野球競技で金メダルの山本由伸投手に市民栄誉賞を贈呈
- 読売巨人軍ファームキャンプが本市で49年ぶりの開催
- スノーピーク都城キャンプフィールドがオープン
- スノーピーク都城キャンプフィールドがオープン
- 13年ぶりの人口増加（前年同月比）
- パリオリンピック2024柔道混合団体銀メダルの高山莉加選手に市民栄誉賞を贈呈
- 都城運動公園テニスコートがリニューアル大相撲都城場所が8年ぶりに開催

2024 令和6年

- 都城市PRキャラクター兼PR部長のぼんちくんが同本部長に昇任
- 都城運動公園の屋内競技場、サブグラウンド、投球練習場が完成
- 都城志布志道路が全線開通
- 霧島酒造スポーツランド都城が完成
- 鷹尾・都原線の拡幅工事が完了
- 日本DX大賞で3年連続大賞を受賞し全国初の殿堂入り
- 千葉ロッテマリーンズの1軍春季キャンプ初開催が決

2025 令和7年

- 都城フィロソフィ策定
- 市役所本庁舎の窓口レイアウト
- ニューアル



新型コロナウイルス緊急生活支援・ 経済対策班設置

カレーとA Iの二刀流で都城の発信を加速すルウ

20代の頃のタレント経験を生かし、約19年にわたりチキン南蛮カレーの伝道師「ルウ王子」としてSNSなどを通じてチキン南蛮カレーと都城の魅力を発信してきました。平成26年にみやこんじょ大使に就任してからは、都城のファンをさらに増やそうと、テレビ出演時は必ず大使のタスキをかけて都城をPR。カレーを通じてテレビ関係者やスポーツ関係者、漫画家など、さまざまな分野の人たちと交流を深め、発信の場を全国に広げています。

これまで経営危機を何度も経験しましたが、乗り越えられてきたのは地域の人たちの助けがあったから。お世話になつた分、培ってきた情報発信のノウハウを地元都城のために役立てたいと思い、令和6年にA I活用支援事業を始めました。A Iと聞くと難しく思うかもしれません、使い方次第で発信力をさらに加速させることができます。A I活用を後押しして都城をA Iに強いまちにすることで、地域経済の活性化に貢献していきたいと思っています。



みやこんじょ大使
カレー倶楽部ルウ
ルウ王子

都城の紙漉き文化を通じて笑顔を広げたい

3年生の課題研究で、かつて市内で盛んだった手漉き和紙文化をよみがえらせる「紙漉き文化再生プロジェクト」に取り組んでいます。もともと地域に貢献したいという思いが強く、都城を盛り上げたいと参加を決意。27人の個性豊かなメンバーでさまざまな企画を実施しています。

手漉き和紙の短冊800枚に七夕の願い事を書いてもらう企画は大変でしたが、願いが込められたたくさんの短冊を見て達成感でいっぱいでした。紙漉きワークショップでは、子どもたちが笑顔で楽しんできれることにやりがいを感じています。現在は、柳田酒造さんとコラボして、焼酎かすを使った焼酎ラベルづくりに試行錯誤しながら挑戦中。ぜひ皆さんにも手漉き和紙の魅力に触れてみてほしいです。

春から地元焼酎メーカーに就職予定で、プロジェクトを受け継ぐ後輩に、焼酎パックで手漉き和紙を作つてもらうのが夢です。これからも地域貢献を続け、都城をさらに笑顔が絶えない、みんなで楽しく暮らせるまちにしていきたいです。



都城商業高校3年
黒木 球史さん

まちをつくるのは一人一人の思い 未来へ希望をつなぐ――



妻ヶ丘地区体育協会会長
亀谷 エミ子さん

スポーツを通じて、人もまちも元気に

昔からスポーツが好きで、今でも週に2回地域の仲間たちとミニバレーやミニテニスを楽しんでいます。スポーツで地域を元気にしたいという思いで、これまで市や地区の体育協会、ミニバレーボール協会などの団体で役職を務めてきました。役員の仕事は大変なことが多いですが、たくさんの人から「亀ちゃん」と声を掛けてもらえることがうれしく、やりがいを感じています。

私自身、年齢を重ねても心身ともに健康で、病院にかかる生活を続けることができているのは、若い頃から楽しんでいるスポーツのおかげ。長年続けているスポーツ推進委員の活動を通じて、「何か運動を始めたいな」と考えている地域の人たちがスポーツを始めるきっかけになるような取り組みをこれからも続けていきたいです。市民の皆さんが楽しくスポーツに取り組み、心身の健康を育むことができるまちになることを願っています。



柏木 恵里奈さん
悠良ちゃん

自然豊かな都城で、安心して子育て

1年前に娘が生まれ、地元都城で子育てをしています。子どもの頃から自然いっぱい人が温かい都城が大好き。自分が親になってからは、すれ違う人たちが子どもに笑いかけてくれたり、声を掛けられたりと、まちの人の温かさを感じる機会がさらに増えました。

県外で子育てする友人と話をしていると、都城は3つの無料化など市独自の取り組みが充実していて、子育てしやすいまちだと感じます。市が進めるこどものあそび整備にも期待していて、安心して遊べる子どもたちの居場所が増えることが今から楽しみです。普段から子育て支援センターを頻繁に利用していますが、子育てをしながら、お母さんたちの居場所がもっとあるといいなという思いが生まれ、自分自身が居場所づくりに取り組みたいと感じるようになりました。これからも、都城が子どもも親も安心して健やかに過ごせるまちであってほしいと思います。